

各 位

2025 年 7 月 10 日
KNT－C Tホールディングス株式会社
総務 CSR 部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和 7 年 5 月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 115.2%、学生団体は同 99.4%、団体旅行合計では同 103.6%となった。企画旅行については前年比 107.6%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 104.4%と前年度を上回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 110.7%、学生団体は同 118.4%、団体旅行合計では同 111.4%となった。企画旅行については前年比 119.5%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 112.7%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比 66.5%と前年度を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の 5 月の総取扱額は、前年比 101.2%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、主に企業関連の視察・研修・報奨旅行の取扱いが増加し、一般団体は 115.2%と前年度を上回った。

学生団体は宿泊研修の取り扱いが増加するも日帰りの校外学習の取り扱いが減少し、学生団体旅行合計で 99.4%と前年度を下回った。

国内企画旅行については、前年比 107.6%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、万博関連の販売は好調も、京都の宿泊旅行が伸び悩み、前年比 86.4 %となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）も、万博関連商品が好調に推移し、前年比 112.5 %となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 104.4%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、主に企業関連の職場旅行の取扱いが増加し、前年比 110.7%となった。学生団体はクラブ海外遠征や研修旅行の取扱いが増加し、前年比 118.4%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比 111.4%となった。

海外企画旅行については、前年比 119.5%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、ゴールデンウィークのアジア方面が好調に推移するも、他方面が伸びず、前年比 94.1%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、ヨーロッパ方面が伸び悩むも他方面が好調に推移し、前年比 119.9%となった。以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 112.7%となった。

3. 訪日旅行

訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約が前月に引き続き好調で、個人旅行は前年を上回るも、スポーツイベント関連の団体旅行が前年を下回り、前年比 66.5%となった。

以 上